

ほうゆう 朋悠たより 2^{FEB}月号

編集委員：施設長 池 功 司

2月は、カレンダーが2日少ないだけで、あっという間に終わってしまいます。でも今月はオリンピックがあり、毎日朝早くからTVに見入っているから、一日が長く感じられるのではないのでしょうか。私もこのところ寝不足気味です。応援していたカーリングは、どうも予選を通過できない様で残念です。今日からは女子フィギアということですが、この便りを配る頃には良い結果が出ていると嬉しいのですが……。あとは『パラリンピック』同じ町内会の久保選手が良い成績を収めてくれるのを期待するのみです。ホームのお年よりも応援しています。TVを見ているとオリンピックでメダルを取る事は本当に難しいものだとつくづく感じます。あれだけ猛練習を重ね本番に臨むのですが、やはりあそこには「魔物」が住んでいるのでしょうかと思えません。「魔物」に気に入られなければメダルを手には出来ないのでしょうか。

まァ〜オリンピックは参加する事に、意義があるとも言いますから、我々がメダル・メダルと騒がず、みんなで静かに見守り結果はどうあれ、大きな拍手をするのが一番！



2/3日は、恒例の豆まきを行いました。今年も賑やかに豆まきをしましたが、まいた後の豆を食べるのも年々苦勞で、お年よりの平均年齢が86歳ですから、少ない人で69個多い人で99個の豆を一度に食べるのは簡単な話ではありません。

豆よりも一緒に入っているチョコボールの方が人気で、来年は豆を少なくチョコを多くして豆まきをしようと考えています。



2/13日には、町内の女子中学生6名がボランティアでホームを訪れ、風船アートで犬を作ってくれたり、手製のカルタでカルタ取りをしてお年寄達と楽しい時間を過ごしました。子供の頃からボランティアを経験し、奉仕やいたわりの心を身に付けてくれることは、本当に素晴らしいことだと思います。これからもボランティア活動に積極的に参加して欲しいものです。

3月の行事予定

1・ひな祭り